



八地申
第19号

「平成29年度営業関係施策(その3)
上野原駅および武蔵五日市駅の業務委託について」

団体交渉

営業職場で働く組合員が 将来への希望を持てる施策にするための3点主張!

組合員

- ①安全・サービスレベルの維持・向上を図ることが絶対的条件である。
- ②「エルダー組合員の雇用の場の確保」を前提としたものにする。
- ③営業のプロ(その駅のプロ)を育成し、安全・サービスレベルの維持・向上を図ること。

認識一致

会社

- ・鉄道は安全が経営の最重要課題であり、会社も同じ認識だ。
- ・これまでの労使議論で確認してきた「エルダー社員の雇用の場の確保」を前提としつつも「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事情」の3点を踏まえて実施していく。
- ・駅全体をマネジメントできる人材を育成していく。



確認事項

上野原・武蔵五日市共に現行の体制(2徹)の維持
備蓄品倉庫のナンバーをJESS社員へ周知徹底する

上野原・武蔵五日市駅のMVに定期券多売期に案内スタッフを配置する(4/6~4/10)

施策実施に伴い管理駅の負担が増加することの認識一致を図り、

拜島駅体制強化を確認!

今後の課題

管理駅の業務負担は増大!
異常時の際の応援体制が確保出来ないことから改善を図らなければならない!

大月駅の被管理駅

7駅

梁川、鳥沢、猿橋
初狩、笹子

+

上野原、四方津

現行5駅

追加2駅

拜島駅の被管理駅

14駅

東中神、中神、昭島、
牛浜、福生、熊川
東福生、箱根ヶ崎、金子

+

東秋留、秋川、
武蔵引田、武蔵増戸、
武蔵五日市

現行9駅

追加5駅

安全レベル、輸送品質、サービスレベルの向上を図るために施策の検証を行い
安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場をつくり出そう!